

—連続公開講座 国土強靱化で日本はどうか？（第3回）—

## 税金の使い方

### 開発型公共事業が、対人支援サービスへの公共投資が

安倍政権は、「国土強靱化」を看板政策に掲げ、「国土強靱化で災害に強い国土ができる」「国土強靱化による財政出動で景気が回復する」とうたい、2012年度補正と2013年度予算を合わせ15カ月予算で合計105.7兆円の「切れ目ない財政出動」に努めるとしています。しかし、公共事業の内容をチェックせずに財政出動を行って、災害に強い国土、景気浮揚効果はうまれるのでしょうか。公共事業改革市民会議では、「国土強靱化」論を検証するため、テーマごとに専門家を招いて公開講座を企画します。

その第3回は、湯浅誠さんにお越しいただき、「人からコンクリートへ」の政策転換で安定した市民生活が維持できるのか、対人支援サービスへの公共投資の必要性などをテーマにおはなしと意見交換を行います。ぜひご参加下さい。

**講師** 湯浅 誠さん(反貧困ネットワーク事務局長、NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい理事、元内閣府参与)

**日時** 2013年4月22日(月)午後3時～5時

**場所** 参議院議員会館1F・101会議室

最寄り駅:永田町駅/国会議事堂前 午後2時40分より会館ロビーで入館証を配布

連続公開講座「国土強靱化で日本はどうか？」今後のテーマ(3月～5月予定/順不同)

○「巨大防潮堤計画は被災地住民を幸福にするか」(仮題)

講師(予定): 畠山信さん(NPO 法人森は海の恋人副理事長)

**主催: 公共事業改革市民会議**(TEL&FAX045-620-2284 mizumondai@xvh.biglobe.ne.jp )

~~~~~公共事業改革市民会議とは~~~~~  
2013年1月、道路・ダム・湿地埋め立て、スーパー堤防などの公共事業や自然保護に取り組む複数の市民団体・個人が結集して立ち上げた団体です。税金の使い方、公共事業に関する課題を共有し、情報発信や政策提言につなげるため、オープン会合(月1回ペース)を開き始めました。